

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院

エイズ治療・研究開発センター/臨床研究開発部門

令和6年度 ACC e-learning

募集要項・シラバス



2024年5月1日

内容

エイズ治療・研究開発センター（ACC）について 1	募集期間およびライブ講義日程（テーマ別）7
診療科の特徴..... 1	申し込み方法7
薬害エイズとは..... 1	修了認定（総合・テーマ別）受講の流れ8
ACC 研修について 2	個人情報の取り扱いおよび著作権について.....9
コース概要 2	個人情報の取扱い.....9
コース紹介：一般視聴 3	著作権.....11
一般視聴 3	よくあるご質問12
コース紹介：修了認定（総合） 4	申し込みについて.....12
基礎コース 4	受講について12
応用コース（職種別） 4	受講後レポートについて13
募集期間およびライブ講義日程（総合） 5	単位認定について.....13
申し込み方法..... 5	動画視聴について.....13
コース紹介：修了認定（テーマ別） 6	参考文献など14
心理職（カウンセラー）コース 6	☑ HIV 感染症とその合併症 診療と治療ハンドブ ック14
地域支援者コース 6	☑ からだ・こころ・くらし・くすりノート.....14
歯科医療従事者コース 6	
周産期小児コース 6	

エイズ治療・研究開発センターの理念

患者の人権と尊厳を重視した「患者中心」の医療を心がけ、高度かつ最先端の医療を実践します。

1. 多職種からなる医療チームで情報を共有し、安全かつきめ細やかな医療を目指します。
2. 安心・納得して医療を受けられるよう、病状や治療内容についての分かりやすい説明を心がけます。
3. 国内外の最先端医療を積極的に取り入れ、最高レベルの医療の提供を目指します。

エイズ治療・研究開発センター（AIDS Clinical Center, ACC）は、薬害エイズ訴訟の和解をふまえ、被害者救済の一環として1997年4月1日、国立国際医療センター（当時）に設置されました。ACCは外来・病棟・治療開発室・医療情報室の4部門からなり、国内外のHIV感染症治療・研究機関との連携のもと、HIV感染症に対する高度かつ最先端の医療提供とともに、新たな診断・治療法開発のための臨床研究・基礎研究を行っています。また、日本におけるHIV感染症診療の水準向上を図るために、最先端の医療情報の提供や、医療従事者に対する研修を行っています。

診療科の特徴

医師、専任看護師（HIVコーディネーターナース）、薬剤師、心理士、歯科衛生士、ソーシャルワーカー等の多職種によるチームできめ細やかなHIVの包括的な診療を行っています。

また、医療従事者を対象としてHIVの基礎から応用まで、レベルに応じて学べる各種研修を定期的実施しています。

薬害エイズとは

1980年代初め、血友病などの血液凝固因子異常症の患者がHIV（ヒト免疫不全ウイルス）の混入されていた輸入非加熱血液凝固因子製剤を投与され、HIVに感染した薬害被害のことです。

当時多くの患者にHIV感染が告知されていなかったため、妻や子供への二次・三次感染も引き起こしました。日本の薬害エイズ被害患者は1,433名、30年が経過し既に半数が亡くなり、生存者数は691名と報告されています（令和5年度血液凝固異常症全国調査より）。1990年代はエイズ発症による死亡が多くみられましたが、それ以降、HIV/HCV重複感染による肝硬変や肝がんの死亡が多い中、近年、生活習慣病の合併、頭蓋内出血例がみられています。

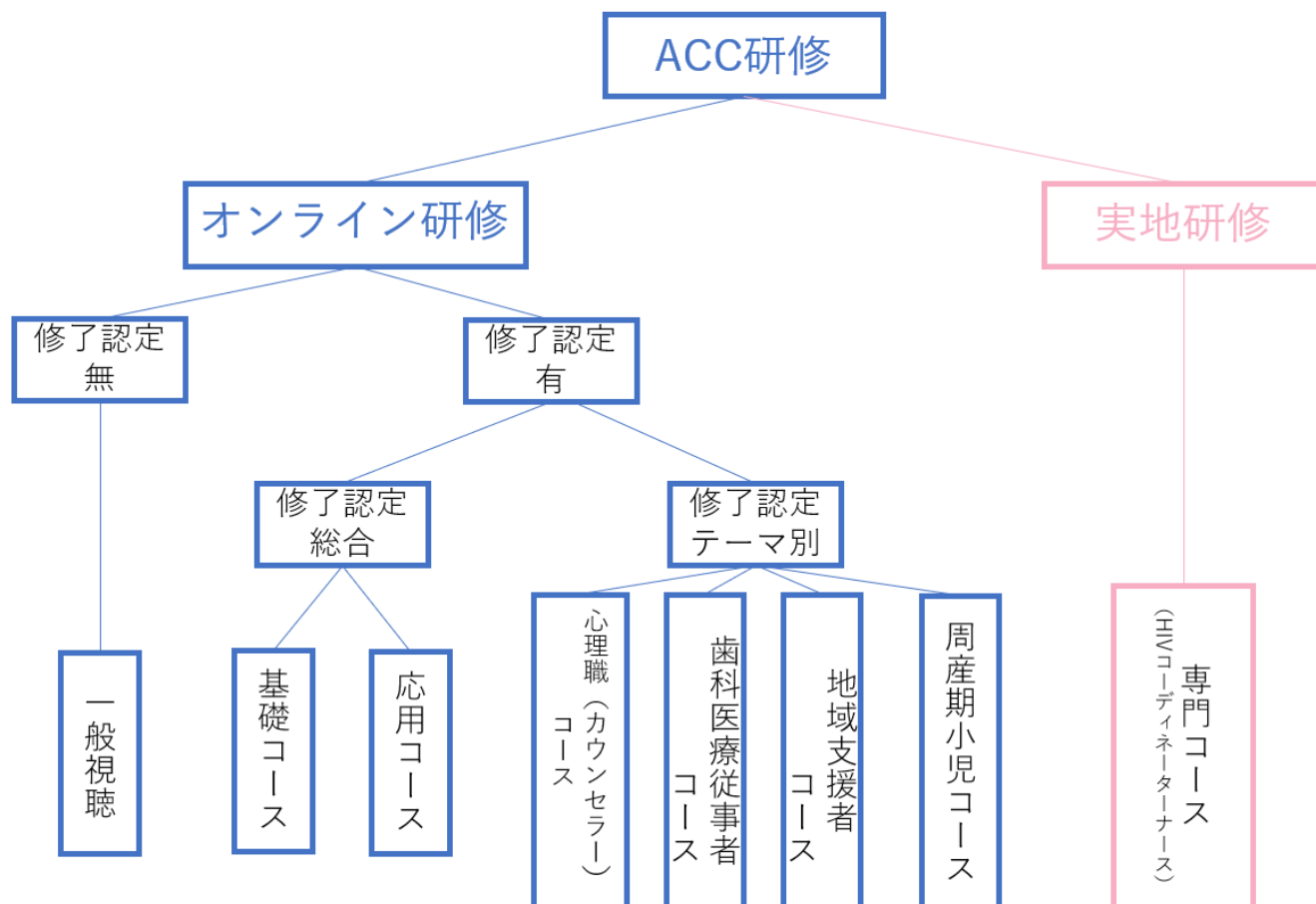
1989年、東京/大阪 HIV 訴訟原告団と弁護団は、東京と大阪の地方裁判所に旧厚生省と製薬企業5社に対し被害の責任を問い提訴し、1996年3月29日に和解が成立しました。ACCは、和解確認書を踏まえて恒久対策の一環として設置され、HIV感染症の治療や研究とともに医療従事者に対する研修（ACC研修）を通して、我が国におけるHIV感染症の医療水準の向上を目指しています。

ACC 研修について

ACC では、HIV 感染者の診療・看護等の実務を担う医療従事者の育成および全国ネットワークの構築を目的として研修を行っています。2019 年頃より流行した新型コロナウイルス（COVID-19）の影響により、研修形態を対面式からオンライン研修（e-learning）に移行して実施しております。

本募集要項では、オンライン研修（e-learning）に関連する研修案内となります。

コース概要



留意事項

- お申し込みの際に医療従事者であることの確認のため、**身分確認証**（所属施設からの推薦状、所属施設職員証の写し、医療職免許の写しの内いずれか）をご提出いただきますのでご了承ください。

（※職員証は所属機関によりその身分が証明されたものに限る）

- 修了認定（総合・テーマ別）は、各コースの定員を上回った場合に選考のうえ受講可否を募集期間終了日より約1～2週間程度でご連絡を申し上げます。**募集期間外のお申し込みはお受けいたしかねます。**

コース紹介：一般視聴

一般視聴

概要 | HIV 感染症・AIDS 診療の基礎知識や治療について学ぶ

対象 | 初めて HIV 感染症診療に携わる医療従事者等

期間 | 随時（視聴期間は、申し込み時より令和 7 年 3 月末まで）

費用 | 無料

取得できる単位 | なし

申し込み方法 | 下記、一般視聴の申し込み先よりお申し込みください。



申込先 URL	https://accel.ncgm.go.jp/acc/entry.php
---------	---

※基礎コースのオンデマンド動画をご視聴いただけます。

-視聴後の修了証の発行はいたしません。

※『一般視聴』はオンデマンド動画の視聴のみでライブ講義は含まれません

コース紹介：修了認定（総合）

基礎コース

概要 | HIV 感染症・AIDS 診療/研究の基礎知識について学ぶ

対象 | 初めて HIV 感染症診療に携わる医療従事者で、日本エイズ学会等へ単位認定を希望し、本 ACC e-learning の修了認定を目指す方（同一のコースを2年連続で受講することはできません。）

定員 | 前期50名、後期80名（各日程40名ずつ）

期間 | 前期（7-9月）、後期（10-翌年3月）

費用 | 無料

取得できる単位 | 日本エイズ学会 認定医・指導医 **申請予定**

日本エイズ学会認定 HIV 感染症看護師・日本エイズ学会 HIV 感染指導看護師 **申請予定**

日本病院薬剤師会 認定薬剤師、専門薬剤師 **申請予定**

応用コース（職種別）

概要 | 職種毎の専門的な知識についてより理解を深め、技術を高める

対象 | **令和3年（2021年度）から令和6年度（2024年度）に ACC e-learning 基礎コースを修了した者のうち**
HIV 感染症の診療や対策に継続的に従事する医師、薬剤師、看護師

定員 | 医師・薬剤師あわせて 前期・後期 各日程18名

看護師 前期・後期 各日程6名

期間 | 前期（7-9月）、後期（10-翌年3月）

費用 | 無料

取得できる単位 | 日本エイズ学会 認定医・指導医 **申請予定**

日本エイズ学会認定 HIV 看護師・日本エイズ学会認定 HIV 感染指導看護師 **申請予定**
（日本エイズ学会:応用レベル研修に相当）

日本病院薬剤師会 認定薬剤師、専門薬剤師 **申請予定**

イ) アドバンストコースは2024年度より応用コースに名称変更しております。講義内容に変更はございません。

ロ) 同一コースを2年連続で受講することはできません。

ハ) 定員に達した場合、選考により受講決定となります。ご期待に添えない場合がございますので、予めご了承ください。



募集期間およびライブ講義日程（総合）

前期	修了認定（総合）
募集期間：2024年7月1日(月)10時～2024年7月12日(金)17時まで	
募集コース：● 基礎コース ● 応用コース（職種別：医師,看護師,薬剤師）	
ライブ講義日程	
● 基礎コース 2024年9月10日(火) 15時00分～16時15分	
● 応用コース 2024年9月12日(木) ※ 職種により時間が異なるため、シラバスをご確認ください。	

※ 前期はひと日程だけのためご注意ください。

後期	修了認定（総合）
募集期間：2024年10月1日(火)10時～2024年10月11日(金)17時まで	
募集コース：● 基礎コース ● 応用コース（職種別：医師,看護師,薬剤師）	
ライブ講義日程 ※ A、またはB日程のどちらかへ参加すること	
● 基礎コース A日程：2024年12月10日(火) 15時00分～16時15分 B日程：2025年 2月 4日(火) 15時00分～16時15分	
● 応用コース A日程：2024年12月12日(木) ※ 職種により時間が異なるため、シラバスをご確認ください。 B日程：2025年 2月 6日(木)	

申し込み方法

各コースのシラバスをご覧のうえ、希望する期の募集期間に下記の申し込み先よりお申し込みください。

申込先 URL	https://accel.ncgm.go.jp/acc/entry.php
申込先 URL 【応用コース】	https://forms.office.com/r/zgNhbjhTEB

コース紹介：修了認定（テーマ別）

心理職（カウンセラー）コース

概要 | HIV 感染症診療に携わる心理職・カウンセラーを対象に、HIV 感染症の基礎知識、
HIV 陽性者の心理とメンタルヘルスについて学ぶ基礎コース

対象 | HIV 感染症診療に従事するか従事する可能性のある臨床心理士・公認心理師等

定員 | 15名

期間 | テーマ別会期（8－10月）

取得できる単位 | 公益財団法人 日本臨床心理士資格認定協会が定める資格更新ポイント（※1）

※1）協会が定める開催要件を満たした場合に限り、事務局より後日申請いたします。

地域支援者コース

概要 | 長期生存時代の HIV 感染者の療養支援、医療機関との連携について学ぶコース

対象 | HIV 感染者の療養支援に従事する（その可能性のある）MSW、実務担当者

定員 | なし

期間 | テーマ別会期（8－10月）

取得できる単位 | 日本エイズ学会認定 HIV 看護師・日本エイズ学会認定 HIV 感染指導看護師 **申請予定**

歯科医療従事者コース

概要 | HIV 感染症診療に携わる歯科医療従事者を対象に、HIV 感染症に関する歴史・背景と支援方法、
歯科診療時に必要な知識を学ぶ

対象 | 歯科医療従事者

定員 | 15名

期間 | テーマ別会期（8－10月）

取得できる単位 | なし

周産期小児コース

概要 | 日本での HIV 母子感染予防対策のマニュアルやガイドラインに基づき、HIV 感染症の産科、
小児科領域の知識について学ぶ

対象 | HIV 感染者の診療をおこなう医療従事者（特にリプロダクティブヘルスに関するケアに従事する者）

定員 | 50名

期間 | テーマ別会期（8－11月）

取得できる単位 | 日本周産期・新生児医学会 専門医 **申請予定**

日本エイズ学会認定 HIV 看護師・日本エイズ学会認定 HIV 感染指導看護師 **申請予定**

修了認定（テーマ別）

募集期間：2024年8月1日(木)10時～2024年8月12日(月)17時まで

- 募集コース：
- 心理職（カウンセラー）コース
 - 地域支援者コース
 - 歯科医療従事者コース
 - 周産期小児コース

ライブ講義日程

- 心理職（カウンセラー）コース
2024年10月03日(木) 14時00分～15時30分
- 地域支援者コース
2024年10月17日(木) 14時00分～15時30分
- 歯科医療従事者コース
2024年10月28日(月) 16時00分～17時00分
- 周産期小児コース
2024年11月1日(金) 14時00分～15時00分

申し込み方法

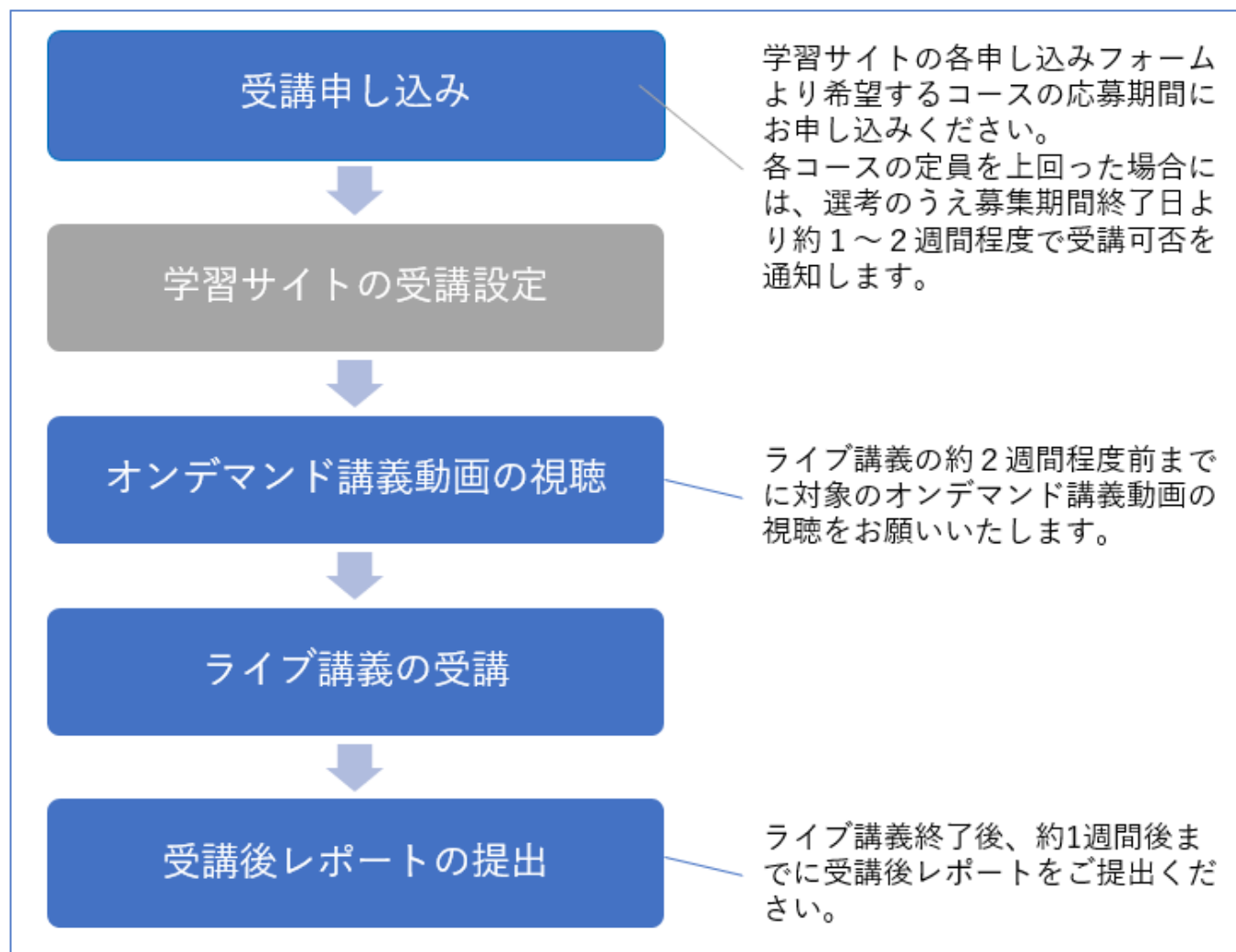
各コースのシラバスをご覧のうえ、募集期間に下記の申し込み先よりお申し込みください

※テーマ別において同一コースを2年連続での受講はお受けいたしかねます。

申込先 URL

<https://accel.ncgm.go.jp/acc/entry.php>

修了認定（総合・テーマ別）受講の流れ



留意事項

- お申し込み時に、身分確認証（所属施設からの推薦状、所属施設職員証の写し、医療職免許の写しの内いずれか）をご提出いただきます。事務局にて内容確認を行いますので、オンデマンド動画の視聴開始まで1～2週間程度お時間を頂戴する場合がございます。
- オンデマンド動画の視聴期限およびライブ講義修了後の受講レポートの入力期限は別途お知らせいたします。
- 指定期限までにオンデマンド動画の視聴が完了しない場合は、ライブ講義へご参加いただけませんので何卒ご了承ください。

問い合わせ先 | 国立国際医療研究センターACC 研修事務局

TEL：03-3202-7181（代表）

FAX：03-3208-4244

mail：seminar@acc.ncgm.go.jp

お問い合わせフォーム：<https://forms.office.com/r/Ab5xTtAP3L>

※ お問い合わせの際は、必ず所属施設名、氏名、連絡先の記載をお願いいたします。

個人情報の取り扱いおよび著作権について

個人情報の取扱い

ACC e-learning サイトの運営（以下、「本サービス」といいます）において、利用者の皆様（以下、「会員」といいます）から提供いただく個人情報の取扱いについて、個人情報の保護に関する法律および関連法令を遵守し、以下規約に基づき適正に対応します。

第1条 個人情報の定義

本サービスにおける個人情報とは、個人に関する情報であり、当該情報に含まれる氏名、生年月日、住所をはじめ電話番号、電子メールアドレスなど個人が保有する番号・記号その他の符号、画像もしくは音声により当該個人と識別できるものとします。当センターでは組み合わせることによって個人が識別できるものも個人情報として取り扱います。

第2条 利用目的

第1項 当センターは、取得した個人情報を以下に定める利用目的の達成に必要な範囲内で利用します。

本サービスの提供および運営のため

HIV感染者、AIDS患者への医療提供を目的とし、他の医療機関等との連携を図るため

講座開講や申し込み状況に関するメーリングリスト配信、本規約またはサービス内容の変更など各種ご案内のため

会員への本人確認、本人認証のため

お問い合わせへのご対応のため

利用動向の調査、統計、分析のため

新サービス、新機能の開発のため

システムの維持・改善、不具合対応のため

第2項 当センターは、前項の利用目的を、関連性を有すると合理的に認められる範囲内において変更することがあり、変更した場合には会員に通知又は公表します。

第3条 個人情報の第三者提供

当センターは、以下の場合を除き会員の同意を得ずに取得した個人情報を第三者に提供することはありません。

法令に基づく場合

人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合であって、会員の同意を得ることが困難であるとき

公衆衛生の向上又は児童の健全な育成の推進のために特に必要がある場合であって、会員の同意を得ることが困難であるとき

国の機関もしくは地方公共団体又はその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、会員の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき

第4条 個人情報の適正な取得と提供の任意性

当センターは、会員本人の同意を得たうえで適正に個人情報を取得します。会員がサービスを利用する上で当センターに提供する個人情報の項目は任意ですが、必要となる項目を提供しない場合、または偽りその他の不正の手段によって個人情報を提供する場合、求めるサービスを受けられないことがあります。

第5条 個人情報の安全管理

当センターは、個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏洩などのリスクに対して、個人情報の安全管理が図られるよう、当センターの職員に対し、必要かつ適切な教育・管理・監督を行います。また、当センターは、個人情報の取扱いの全部又は一部を委託する場合は、委託先において個人情報の安全管理が図られるよう、必要かつ適切な監督を行います。但し、本サービスを利用するにあたって取得して頂くアカウント、パスワードの管理は、利用規約に従って、会員の自己責任で管理して頂くものとします。

第6条 個人情報の開示

当センターは本サービスの運営に関し、会員から、個人情報保護法の定めに基づき個人情報の開示を求められたときは、会員ご本人からのご請求であることを確認の上で、会員に対し、遅滞なく開示を行います（当該個人情報が存在しないときにはその旨を通知いたします。）。但し、個人情報保護法その他の法令により、当センターが開示の義務を負わない場合は、この限りではありません。

第7条 個人情報の利用停止等

当センターは、会員から、会員の個人情報が、あらかじめ公表された利用目的の範囲を超えて取り扱われているという理由又は偽りその他不正の手段により取得されたものであるという理由により、個人情報保護法の定めに基づきその利用の停止又は消去（以下、「利用停止等」）を求められた場合において、そのご請求に理由があることが判明した場合には、会員ご本人からのご請求であることを確認の上で、遅滞なく個人情報の利用停止等を行い、その旨を会員に通知します。

但し、個人情報保護法その他の法令により、当センターが利用停止等の義務を負わない場合は、この限りではありません。

第8条 Cookie（クッキー）その他の技術の利用

本サービスではウェブサイト閲覧動向等の情報を収集・分析し、それらの結果を元にサイトコンテンツの向上を図ることを目的に Cookie 及びこれに類する技術を使用していますが、これらにより収集されたデータは個人を特定できるものではなく、プライバシーを侵害することはありません。また、Cookie はご自身で無効にする設定を行う事が可能です。無効化を設定した場合の利用者の損害等について、本サービスおよび当センターは一切の責任を負うものではありません。

第9条 セキュリティに関して

会員の情報は会員のプライバシー保護及び、セキュリティの為パスワードで保護されています。当センターは第三者によるデータ転送から個人情報等を保護する為、業界標準の SSL 暗号を使用します。

第10条 利用規約の改正について

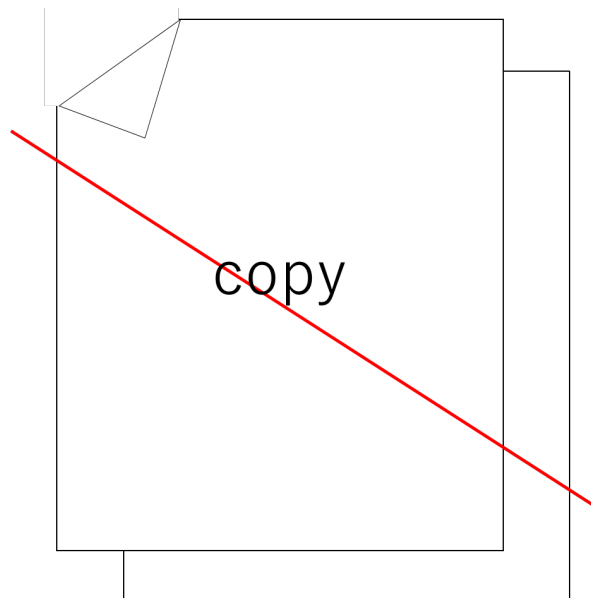
当センターは個人情報の取扱いに関する運用状況を適宜見直し、継続的な改善に努めるものとし、利用規約の一部または全部を改定する場合がございます。重要な変更がある場合には、サイト上でお知らせします。

第11条 本サービスの利用および個人情報の取り扱いに関する問合せ

本サービスの利用および運営上の個人情報の取り扱いに関するご意見・お問合せ等がございましたら、研修事務局までお問い合わせください。

著作権

サイト内のコンテンツ（文章・資料・画像・音声等）は、特に記載のない限り国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センターまたは第三者が保有します。営利・非営利を問わず、内容を許可なく複製、転載、販売などに二次利用することを禁じます。



よくあるご質問

申し込みについて

- 申し込みから受講開始までの期間を教えてください。
 - > 一般視聴の場合は申し込み後に身分確認証のご提出をいただいてから、受講開始まで約1～2週間程度のお時間を頂戴します。また、修了認定（総合・テーマ別）は、募集期間終了後より選考を行いますので、募集期間終了後より約1～2週間程度で受講開始予定です。
- オンデマンド講義のみ視聴は可能ですか？
 - > 日本エイズ学会等へ単位申請を希望しない方は、一般視聴をお申し込みください。一般視聴では、基礎コースおよびテーマ別コース内のオンデマンド動画をご覧いただけます。
- ACC e-learning になる以前の対面研修で基礎コースを受講しました。応用コースの受講はできますか？
 - > 過去に対面研修をご受講済みであった場合でも、応用コースのご受講はお受けいたしかねます。HIV 感染症の治療は日々変化しており、講義内容も随時見直しを行っています。大変恐縮ではございますが、修了認定（総合）の基礎コース受講をご検討ください。
- 医療従事者ではないですが、受講できますか？
 - > 医療従事者向けの講義内容でございますので、研修事務局までご相談ください。
- 診療科内の複数名でオンデマンド動画を視聴したいのですが、可能ですか？
 - > 一般視聴については、代表者1名の登録（グループメールアドレスの使用）で差し支えございません。修了認定を希望される場合には、受講歴管理のため個々（個人のメールアドレス）でのご登録をお願いいたします。
- 昨年に基礎コースを受講しました。今年、応用コースを受講するにあたり推薦状をまた提出しないといけないですか？
 - > 基礎コース時に身分確認をさせて頂いております。そのため、応用コースでの身分確認証のご提出は原則不要でございます。ただし、基礎コース受講時と勤務先が異なる場合につきましては身分確認証のご提出をお願いしております。

受講について

- 受講に係る費用は無料ですか？
 - > 無料で受講いただけます。途中でコース受講を中断した場合もキャンセル料は発生いたしません。ただし、オンデマンド動画の視聴やライブ講義への参加にかかる通信料は受講生へご負担いただきます。
- 基礎コースの全講義を見終わるのに、どのくらい時間がかかりますか？
 - > オンデマンド動画1講義の視聴にかかる時間は約15～20分です。全講義は約10時間程度です。

- 受講の際にスライド資料はダウンロードできますか？または、講義資料は貰えますか？
 - > 大変申し訳ございませんが、資料のダウンロードはできません。講義中の資料につきましても原則配布は行っておりません。次項『参考文献』をよろしければご利用ください。
- 修了認定の要件であるライブ講義へ参加ができないかもしれません。どうすればよいですか。
 - > ライブ講義へご参加が難しい場合は、なるべく早く研修事務局へご相談ください。
 別日程への振替調整をいたしますが、定員の関係で受講中断となる場合がございますのでご了承ください。
 -振替は原則翌年度迄お受けいたします。

受講後レポートについて

- レポートとは具体的にどのようなものですか？文字数指定はありますか？
 - > ライブ講義終了後、100字程度でライブ講義に対するご意見およびACC e-learning 全体に対するご意見を頂戴しています。
- 以前参加したライブ講義のレポートを後から提出することで修了認定となりますか？
 - > 受講後レポートは、各回で提出期日（ライブ講義終了後より1週間程度）を設定しています。この期日を超過した場合には、修了認定をいたしかねます。

単位認定について

- 認定要件について教えてください。
 - > 各コースにより修了認定要件は異なります。シラバスをご確認ください。
- 認定資格を日本エイズ学会へ申請予定です。基礎コース受講により得られる点数について教えてください。
 - > 基礎コースは、計10時間（オンデマンド動画9時間+ライブ講義1.5時間）の構成です。日数で換算すると2～3日に該当します。
- 単位申請に関するお問い合わせはどこにしたらいいですか？
 - > ACC e-learning 受講後の単位申請に関するご質問は、申請先である学会へお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。また、学会への単位申請はご自身での申請をお願いいたします。

動画視聴について

- R5年度受講したコースの動画をR6年度も引き続き視聴したいのですが視聴可能ですか？
 - > 原則、単年度での視聴期限を設けておりますので、お受けいたしかねます。
 『一般視聴』のみ継続での視聴が可能ですので、指定フォームよりお申し込みください。

参考文献など

本 ACC e-learning は、HP で公開を行っている資料・資料の一部を使用しています。よろしければ学習にお役立ててください。

▶ HIV 感染症とその合併症 診療と治療ハンドブック

監修：岡 慎一（ACC 名誉センター長） 編集：照屋 勝治（臨床研究開発部長）

URL：<https://www.acc.ncgm.go.jp/medics/treatment/handbook/>



▶ からだ・こころ・くらし・くすりノート

URL：<https://www.acc.ncgm.go.jp/general/note/>



(以下余白、次項よりシラバス)

コース名	基礎コース	対象	医療従事者（全職種）
公開時期	令和6年5月	総講義時間	約10時間30分
定員数	前期50名/後期80名（各日程40名ずつ）		
講義形式	オンデマンド動画視聴/ライブ講義/レポート		
修了認定要件			
オンデマンド動画視聴およびライブ講義を受講し、レポート提出をもって、基礎コースの修了を認定する			
各団体 認定単位数			
日本エイズ学会 認定医/指導医 申請予定			
日本エイズ学会 認定看護師/指導看護師 申請予定			
日本病院薬剤師会 認定薬剤師/専門薬剤師 申請予定			
講義の概要とねらい			
初めてHIV感染症診療に携わる医療従事者、すでにHIV感染症診療に携わっている医療従事者を対象に、最新のHIV感染症の基礎知識や治療について学ぶ			
到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・全37講義を視聴し、自分の専門領域で患者支援に必要なHIV感染症に関する知識を習得する ・HIV感染症診療を取り巻く、多職種連携の患者支援のあり方を理解する ・講義の受講を通して、新たな気づきや疑問を持ち、それについて考察できている。 			
プログラム			
① オンデマンド動画視聴			
	(講義動画名)		(時間)
	はじめに		0:07:33
	HIV感染症概論		0:35:33
	HIV感染症の診断		0:10:23
	HIV感染症の告知		0:05:52
	初診時評価		0:14:52
	抗HIV療法導入		0:09:08
	抗HIV薬の特徴①		0:27:05
	抗HIV薬の特徴②		0:20:54
	薬物相互作用の考え方		0:12:02
	曝露後予防		0:24:04
	曝露前予防		0:37:51
	日和見疾患 総論①		0:11:41
	日和見疾患 総論②		0:10:22
	日和見疾患 総論③		0:12:51
	A型肝炎		0:05:46
	B型肝炎		0:12:25
	C型肝炎		0:13:37
	アメーバ赤痢		0:23:37
	ヒトパピローマウイルス (HPV)		0:11:49
	梅毒		0:11:49
	淋菌感染症・男性尿道炎		0:11:49
	血友病 概論①		0:16:07
	血友病 概論②		0:11:06
	HIV感染症診療における看護師の役割		0:09:28
	HIV診療 入院時の対応		0:16:45
	HIV診療 外来受診時の対応		0:17:49

療養支援 患者教育と服薬支援	0:21:59
HIV診療における薬剤師の役割①	0:13:35
HIV診療における薬剤師の役割②	0:14:32
HIV診療における社会資源の活用	0:19:18
HIV感染症診療におけるメンタルヘルスケア	0:07:40
HIV診療における心理職の役割① HIV感染症と精神疾患	0:21:47
HIV診療における心理職の役割②	0:10:47
薬害HIV感染者の現状と救済医療	0:19:46
世界のエイズ対策	0:15:00
HIV感染者に対するワクチン	0:13:35
治療失敗時の対応	0:10:38
(合計)	9:30:55
② ライブ講義（多職種の講師複数名によるQ&Aセッション）	1:15:00
③ レポート（ライブ講義受講後に研修参加の感想や意見を約1000字程度で作成）	

実施スケジュール	
----------	--

① オンデマンド動画視聴	参加するライブ講義日程の約1週間前の指定期日までにコース内のすべての動画を視聴すること
② ライブ講義（各日程ともに開始10分前にオリエンテーションを実施します。）	
【前期】 日程：	令和 6年 9月 10日（火）15時00分～16時15分
【後期】 A日程：	令和 6年 12月 10日（火）15時00分～16時15分
B日程：	令和 7年 2月 4日（火）15時00分～16時15分
	※ A日程または、B日程のどちらかへ参加すること。
③ レポート	ライブ講義より約1週間後の指定期日までに専用フォームよりレポートを入力し、送信すること

備考	
----	--

--	--

最終更新日		管理コード	
-------	--	-------	--

コース名	応用コース（看護師）	対象	看護師（基礎コース修了者のみ）
公開時期	令和6年5月	総講義時間	約9時間
定員数	前期6名／後期12名（各日程6名ずつ）		
講義形式	オンデマンド動画視聴／ライブ講義／レポート		
修了認定要件			
オンデマンド動画視聴およびライブ講義を受講し、レポート提出をもって、応用コースの修了を認定する			
各団体 認定単位数			
日本エイズ学会 認定看護師／指導看護師 申請予定			
※ 本コースは、日本エイズ学会が指定する応用レベル研修に相当します。			
講義の概要とねらい			
講義,ロールプレイによる疑似体験,グループワークの構成とする。HIV看護の専門的な知識の獲得と患者面談のスキルの習得、また多職種の役割を理解しチーム医療の一員として活動するスキルを学ぶ。			
到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・ HIV看護の専門的な知識を習得し、根拠に基づいたケア実践ができる。 ・ HIV感染症患がおかれた環境や人間関係、価値観などが理解できる。 ・ HIV感染症の慢性経過を踏まえ、慢性看護の視点を融合させた看護が理解できる。 ・ チーム医療でのHIV感染症看護師の役割や活動が理解できる。 			
プログラム			
① オンデマンド動画視聴			
	(講義動画名)		(時間)
	安定期の管理		0:14:07
	治療失敗時の対応		0:10:38
	HIV看護 応用 セルフケア支援		0:14:11
	薬害被害者の患者理解		0:15:01
	薬害HIV感染者の看護 外来編		0:09:57
	薬害HIV感染者の看護 入院編		0:15:00
	HIV看護 サポート形成支援		0:10:27
	患者対応のポイント		0:07:47
	HIV看護 問診の取り方		0:11:59
	継続看護		0:15:19
	薬害HIV感染者とその家族への心理支援		0:18:30
	セクシュアルマイノリティへの心理支援		0:26:34
	女性への心理支援		0:16:39
	薬害エイズ事件と裁判和解		0:16:52
	HIV医療体制の確立とACC設置		0:16:00
	ピアサポート～HIV陽性者への支援とその背景		0:21:03
	ピアサポート～MSMへの理解とその背景		0:26:50
	感染管理 標準予防策について		0:22:56
	COVID-19のインパクトのなかでのMSMへの検査普及の取り組み		0:18:04
	コミュニティセンターaktaが取り組むこと		0:25:37
	- MSM対策の地域連携のハブ機能		
	HIV診療における心理支援の実例		0:18:10
	女性とHIV		0:09:11
	拳児希望者への対応		0:09:34
	母子感染対策		0:15:40
		(合計)	6:26:06
② ライブ講義 ※職種別および総合の両方へ参加が必須			

職種別：ロールプレイ

1:00:00

総合：多職種合同による事例検討（グループワーク）

1:30:00

③ レポート（ライブ講義受講後に研修参加の感想や意見を約1000字程度で作成）

実施スケジュール

① オンデマンド動画視聴

参加するライブ講義日程の約1週間前の指定期日までにコース内のすべての動画を視聴すること

② ライブ講義

※ 総合は、各日程ともに開始10分前にオリエンテーションを実施します。

【前期】 日程： 令和6年9月12日（木）

職種別：13時30分～14時30分／総合：15時30分～17時00分

※ 前期については、9月回のみのため何卒ご了承ください。

【後期】 A日程： 令和6年12月12日（木）

職種別：13時30分～14時30分／総合：15時30分～17時00分

B日程： 令和7年2月6日（木）

職種別：13時30分～14時30分／総合：15時30分～17時00分

※ A日程または、B日程のどちらかへ参加すること。

（後期は、希望日程を伺いますが、希望者多数の場合にはA・Bのいずれかの日程になります）

③ レポート

ライブ講義より約1週間後の指定期日までに専用フォームよりレポートを入力し、送信すること

備考

最終更新日

管理コード

コース名	応用コース（医師）	対象	医師（基礎コース修了者のみ）
公開時期	令和6年5月	総講義時間	約10時間
定員数	前期18名/後期36名（各日程18名ずつ） ※薬剤師と併せて		
講義形式	オンデマンド動画視聴/ライブ講義/レポート		
修了認定要件			
オンデマンド動画視聴およびライブ講義受講の上、レポート提出をもって、修了認定とします			
各団体 認定単位数			
日本エイズ学会 認定医/指導医 申請予定			
講義の概要とねらい			
抗HIV療法、頻度の高い日和見疾患や性感染症の診療について、ガイドラインに沿って理解するとともに状況に応じた対処方法を、ライブ講義を通して学び、実際の診療現場で役立つ知識の習得を目指します			
到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・抗HIV療法および頻度の高い日和見疾患や性感染症に対するガイドラインを理解する ・患者背景に合わせた抗HIV治療薬を選択し、治療の導入、維持療法が可能となる ・頻度の高い日和見疾患や性感染症に対し、適切な診断・治療薬の選択・治療後のフォローができる ・治療困難症例について、適切な時期に専門家へ相談できる 			
プログラム			
① オンデマンド動画視聴			
	(講義動画名)		(時間)
	安定期の管理		0:14:07
	治療失敗時の対応		0:10:38
	ニューモシスチス肺炎(カリニ肺炎)①		0:15:55
	ニューモシスチス肺炎(カリニ肺炎)②		0:26:38
	結核・非結核性抗酸菌症①		0:13:51
	結核・非結核性抗酸菌症②		0:17:00
	結核・非結核性抗酸菌症③		0:14:26
	結核・非結核性抗酸菌症④		0:19:54
	サイトメガロウイルス感染症		0:19:40
	HHV8感染症		0:19:32
	中枢神経合併症①		0:08:51
	中枢神経合併症②		0:17:08
	薬害エイズ事件と裁判和解		0:16:52
	HIV医療体制の確立とACC設置		0:16:00
	ピアサポート～HIV陽性者への支援とその背景		0:21:03
	ピアサポート～MSMへの理解とその背景		0:26:50
	COVID-19のインパクトのなかでのMSMへの検査普及の取り組み		0:18:04
	コミュニティセンターaktaが取り組むこと		0:25:37
	- MSM対策の地域連携のハブ機能		
	HIV診療における心理支援の実際		0:18:10
	セクシャルマイノリティへの心理支援		0:23:53
	女性とHIV		0:09:11
	拳児希望者への対応		0:09:34
	母子感染対策		0:15:40
		(合計)	6:38:34
② ライブ講義 ※職種別および総合の両方へ参加が必須			
	職種別：日和見疾患と抗HIV療法の選択		2:00:00
	総合：多職種合同による事例検討（グループワーク）		1:30:00

③ レポート（ライブ講義受講後に研修参加の感想や意見を約1000字程度で作成）

実施スケジュール

① オンデマンド動画視聴

参加するライブ講義日程の約1週間前の指定期日までにコース内のすべての動画を視聴すること

② ライブ講義（A日程、またはB日程のどちらかへ参加すること）

※ 総合は、各日程ともに開始10分前にオリエンテーションを実施します。

【前期】 日程： 令和6年 9月 12日（木）

職種別：10時00分～12時00分／総合：15時30分～17時00分

※ 前期については、9月回のみのため何卒ご了承ください。

【後期】 A日程： 令和6年 12月 12日（木）

職種別：10時00分～12時00分／総合：15時30分～17時00分

B日程： 令和7年 2月 6日（木）

職種別：10時00分～12時00分／総合：15時30分～17時00分

※ A日程または、B日程のどちらかへ参加すること。

③ レポート

ライブ講義より約1週間後の指定期日までに専用フォームよりレポートを入力し、送信すること

備考

最終更新日

管理コード

コース名	応用コース（薬剤師）	対象	薬剤師（基礎コース修了者のみ）
公開時期	令和6年5月	総講義時間	約10時間
定員数	前期18名/後期36名（各日程18名ずつ） ※医師と併せて		
講義形式	オンデマンド動画視聴/ライブ講義/レポート		
修了認定要件			
オンデマンド動画視聴およびライブ講義を受講し、レポート提出をもって、応用コースの修了を認定する			
各団体 認定単位数			
日本病院薬剤師会 認定薬剤師・専門薬剤師 申請予定			
講義の概要とねらい			
<p>HIV感染症に従事している実務経験者を対象とした講義内容になっています。</p> <p>HIV感染症の管理、日和見感染症治療、周産期対応などの治療だけでなく、HIV感染症ケア全般について、より実践的な内容を学習します。</p>			
到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・ HIV感染症の管理について理解する。 ・ 日和見感染症の治療、管理について学習する。 ・ HIV感染症とメンタルヘルスについて理解する。 ・ HIV感染症と薬害について学ぶ。 ・ HIV感染症患者のサポートについて学習する ・ HIV感染女性の妊娠、出産による安全性を確保するため、周産期の対応について学習する。 			
プログラム			
① オンデマンド動画視聴			
	（講義動画名）		（時間）
	安定期の管理		0:14:07
	治療失敗時の対応		0:10:38
	ニューモシスチス肺炎(カリニ肺炎)①		0:15:55
	ニューモシスチス肺炎(カリニ肺炎)②		0:26:38
	結核・非結核性抗酸菌症①		0:13:51
	結核・非結核性抗酸菌症②		0:17:00
	結核・非結核性抗酸菌症③		0:14:26
	結核・非結核性抗酸菌症④		0:19:54
	サイトメガロウイルス感染症		0:19:40
	HHV8感染症		0:19:32
	中枢神経合併症①		0:08:51
	中枢神経合併症②		0:17:08
	薬害エイズ事件と裁判和解		0:16:52
	HIV医療体制の確立とACC設置		0:16:00
	ピアサポート～HIV陽性者への支援とその背景		0:21:03
	ピアサポート～MSMへの理解とその背景		0:26:50
	COVID-19のインパクトのなかでのMSMへの検査普及の取り組み		0:18:04
	コミュニティセンターaktaが取り組むこと		0:25:37
	- MSM対策の地域連携のハブ機能		
	HIV診療における心理支援の実際		0:18:10
	セクシャルマイノリティへの心理支援		0:23:53
	女性とHIV		0:09:11
	拳児希望者への対応		0:09:34
	母子感染対策		0:15:40
		（合計）	6:38:34
② ライブ講義 ※職種別および総合の両方へ参加が必須			
	職種別：日和見疾患		2:00:00

- ③ レポート（ライブ講義受講後に研修参加の感想や意見を約1000字程度で作成）

実施スケジュール

① オンデマンド動画視聴

参加するライブ講義日程の約1週間前の指定期日までにコース内のすべての動画を視聴すること

② ライブ講義（A日程、またはB日程のどちらかへ参加すること）

※ 総合は、各日程ともに開始10分前にオリエンテーションを実施します。

【前期】 日程： 令和6年 9月 12日（木）

職種別：10時00分～12時00分／総合：15時30分～17時00分

※ 前期については、9月回のみのため何卒ご了承ください。

【後期】 A日程： 令和6年 12月 12日（木）

職種別：10時00分～12時00分／総合：15時30分～17時00分

B日程： 令和7年 2月 6日（木）

職種別：10時00分～12時00分／総合：15時30分～17時00分

※ A日程または、B日程のどちらかへ参加すること。

③ レポート

ライブ講義より約1週間後の指定期日までに専用フォームよりレポートを入力し、送信すること

備考

最終更新日

管理コード

コース名	地域支援者コース	対象	医療従事者（全職種）
公開時期	令和6年5月	総講義時間	約4時間
定員数	なし		
講義形式	オンデマンド動画視聴／ライブ講義／レポート		
修了認定要件			
オンデマンド動画視聴およびライブ講義を受講し、レポート提出をもって、地域支援者コースの修了を認定する			
各団体 認定単位数			
日本エイズ学会 認定看護師／指導看護師 申請予定			
講義の概要とねらい			
HIV感染者の地域支援に必要な基礎知識や地域医療連携の実践例について学び、HIV感染者の地域医療の支援の実際に役立つ。			
到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・ HIV感染症の治療、感染対策、支援内容について基礎的な知識を取得する。 ・ HIV感染症患者が利用できる社会制度を理解することができる。 ・ HIV感染症患者の特徴を理解し、在宅療養に必要な支援を提供するため多職種の役割を理解することができる。 ・ HIV感染症患者の地域支援の実際を学び、自施設で受け入れる際のイメージを持つことができる。 			
プログラム			
① オンデマンド動画視聴			
	(講義動画名)		(時間)
	はじめに		0:07:33
	HIV感染症概論		0:35:33
	HIV感染症概論感染症患者の在宅療養支援		0:10:07
	HIV診療における社会資源の活用		0:19:18
	HIV感染症患者の心理① 治療過程		0:19:16
	HIV感染症患者の心理② ライフサイクル		0:17:41
	感染管理 標準予防策について		0:22:56
	事例 認知症を合併したHIV感染者の支援を振り返って①		0:17:37
	事例 認知症を合併したHIV感染者の支援を振り返って②		0:22:43
		(合計)	2:52:44
② ライブ講義（事例検討） 1:30:00			
③ レポート（ライブ講義受講後に研修参加の感想や意見を約1000字程度で作成）			
実施スケジュール			
① オンデマンド動画視聴 参加するライブ講義日程の約1週間前の指定期日までにコース内のすべての動画を視聴すること			
② ライブ講義 日程： 令和6年10月17日（木） 14時00分～15時30分 : zoomによる受講生を交えたシンポジウム形式で開催			
③ レポート ライブ講義より約1週間後の指定期日までに専用フォームよりレポートを入力し、送信すること			
備考			
最終更新日		管理コード	

コース名	心理職（カウンセラー）コース	対象	心理職
公開時期	令和6年5月	総講義時間	約6時間
定員数	15名		
講義形式	オンデマンド動画視聴／ライブ講義／レポート		
修了認定要件			
オンデマンド動画視聴およびライブ講義を受講し、レポート提出をもって、心理職（カウンセラー）コースの修了を認定する			
各団体 認定単位数			
公益財団法人 日本臨床心理士資格認定協会が定める資格更新ポイント申請予定 ※ 日本臨床心理士資格認定協会が定める開催要件を満たした場合のみ			
講義の概要とねらい			
HIV感染症診療に初めて携わる心理職、およびHIV感染症の心理臨床に携わって間もない心理職を対象にしたコースである。 HIV感染症の心理臨床全般における基礎知識を学ぶ。			
到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義の受講を通して、HIV感染症診療の心理支援における基礎的な知識を習得する。 ・ HIV陽性者に特徴的な心理社会的な背景を理解し、多職種での協働を含めた心理支援について考えることができる。 ・ HIV感染症の心理臨床における新たな気づきや疑問を持ち、それについて考察できる。 			
プログラム			
① オンデマンド動画視聴			
	(講義動画名)		(時間)
	はじめに		0:07:33
	HIV感染症概論		0:35:33
	HIV感染症診療における看護師の役割		0:09:28
	HIV診療における薬剤師の役割①		0:13:35
	HIV診療における社会資源の活用		0:15:08
	HIV診療における心理職の役割① HIV感染症と精神疾患		0:18:18
	HIV診療における心理職の役割② 心理職の役割		0:09:38
	HIV感染症診療におけるメンタルヘルスクア		0:07:40
	HIV診療における心理支援の実際		0:18:10
	HIV診療における心理支援概論		0:12:01
	HIV感染症患者の心理① 治療過程		0:19:16
	HIV感染症患者の心理② ライフサイクル		0:17:41
	薬害HIV感染者とその家族への心理支援		0:16:15
	セクシャルマイノリティへの心理支援		0:23:53
	女性への心理支援		0:13:38
	薬害HIV感染者の現状と救済医療		0:18:30
		(合計)	4:16:17
② ライブ講義（HIV感染症心理臨床における架空の事例検討 *グループワーク）			1:30:00
③ レポート（ライブ講義受講後に研修参加の感想や意見を約1000字程度で作成）			
実施スケジュール			
① オンデマンド動画視聴 参加するライブ講義日程の約1週間前の指定期日までにコース内のすべての動画を視聴すること			
② ライブ講義 日程： 令和6年10月3日（木） 14：00～15：30			
③ レポート ライブ講義より約1週間後の指定期日までに専用フォームよりレポートを入力し、送信すること			
備考			
心理職以外の医療従事者からの申し込みも受け付けるが、選考が必要な場合は心理職を優先する場合がある。			
最終更新日		管理コード	

コース名	周産期小児コース	対象	医療従事者（全職種）
公開時期	令和6年5月	総講義時間	3時間30分
定員数	50名		
講義形式	オンデマンド動画視聴／ライブ講義／レポート		
修了認定要件			
オンデマンド動画視聴およびライブ講義を受講し、レポート提出をもって、周産期小児コースの修了を認定する			
各団体 認定単位数			
日本エイズ学会 申請予定 日本周産期・新生児医学会 専門医 申請予定			
講義の概要とねらい			
HIV感染症患者の産科、小児科診療に関する講義動画と質疑応答を中心としたライブ講義とする。 HIV母子感染予防対策のマニュアルやガイドラインに基づいた学習内容だけでなく、経験する機会が少ない施設でも実際の分娩場面の動画を視聴してもらうことで、臨床実践にすぐに活用できる。			
到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・ HIV感染症と妊娠・分娩に関する基本知識が取得できる。 ・ HIV母子感染予防対策の実践に必要な産科・小児・助産の知識や技術を習得できる。 ・ HIV感染妊婦の周産期管理に必要な感染症科、産科、小児科、助産師などの連携が理解できる ・ 妊娠や出産を希望するHIV感染者への支援について理解できる。 			
プログラム			
① オンデマンド動画視聴			
	(講義動画名)		(時間)
	はじめに		0:07:33
	HIV感染症概論		0:35:33
	女性とHIV		0:09:11
	拳児希望者への対応		0:09:34
	HIV感染症妊婦の産科管理		0:27:47
	HIV感染妊婦から出生した児の管理①		0:05:57
	周産期・小児コース小児科資料映像		
	：分娩時の母子感染症処置と新生児蘇生法		
	HIV感染妊婦から出生した児の管理②		0:12:25
	HIV感染妊婦の周産期ケアと分娩（病棟）		0:12:25
	周産期・小児コース助産師資料		0:15:50
	：HIV患者出産における助産師の動き		
	HIV感染妊婦と出生児に対する支援		0:12:03
		(合計)	2:28:18
② ライブ講義（ミニ講義、事前・当日質問のQ&A、ディスカッション）			1:00:00
③ レポート（ライブ講義受講後に研修参加の感想や意見を約1000字程度で作成）			
実施スケジュール			
① オンデマンド動画視聴			
参加するライブ講義日程の約1週間前の指定期日までにコース内のすべての動画を視聴すること			
② ライブ講義			
日程： 令和6年11月1日（金） 14：00～15：00			
③ レポート			
ライブ講義より約1週間後の指定期日までに専用フォームよりレポートを入力し、送信すること			
備考			
最終更新日		管理コード	

コース名	歯科コース	対象	歯科従事者
公開時期	令和6年5月	総講義時間	約4時間
定員数	15名		
講義形式	オンデマンド動画視聴／ライブ講義／レポート		
修了認定要件			
オンデマンド動画視聴およびライブ講義を受講し、レポート提出をもって、歯科コースの修了を認定する			
各団体 認定単位数			
なし			
講義の概要とねらい			

HIV感染症診療に携わる歯科医療従事者を対象に、HIV感染症に関する歴史・背景と支援方法、歯科診療時に必要な知識を学ぶ。

到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・薬害エイズ事件の歴史と、HIV感染者の背景に関して理解する。 ・歯科診療に必要なHIV感染症に関する知識を習得する。 ・講義受講と動画視聴にて、歯科診療時の感染対策に関する知識を習得する。 			
プログラム			
① オンデマンド動画視聴			
	(講義動画名)		(時間)
総合	薬害エイズ事件と裁判和解		0:16:52
総合	HIV医療体制の確立とACC設置		0:16:00
総合	ピアサポート～HIV陽性者への支援とその背景		0:21:03
総合	ピアサポート～MSMへの理解とその背景		0:26:50
総合	COVID-19のインパクトのなかでのMSMへの検査普及の取り組み		0:18:04
総合	コミュニティセンターaktaが取り組むこと- MSM対策の地域連携のハブ機能		0:25:37
歯科	総論①		0:08:52
歯科	総論②		0:23:29
歯科	各論①		0:19:36
歯科	各論②		0:28:11
歯科	動画（準備・診療・片付け）		0:16:57
			3:41:31
② ライブ講義（医師・歯科医師によるQ&Aセッション）			1:00:00
③ レポート（ライブ講義受講後に研修参加の感想や意見を約1000字程度で作成）			
実施スケジュール			
① オンデマンド動画視聴			
参加するライブ講義日程の約1週間前の指定期日までにコース内のすべての動画を視聴すること			
② ライブ講義			
日程： 令和6年10月28日（月） 16:00～17:00			
③ レポート			
ライブ講義より約1週間後の指定期日までに専用フォームよりレポートを入力し、送信すること			
備考			
最終更新日		管理コード	